

保護者からの事業所評価の集計結果（公表）

別紙4

公表：令和元年11月30日

事業所名こばんはうすさくら八幡西割子川教室 保護者等数（児童数）15 回収数11 割合73%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1			充分に広くて明るいと思います。	出来るだけモノを置かず広く使って貰えるように努力します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	2		4	・先生の数は子供が増えるにつれて増えていると思います。 ・保育士さんが多いようですがその他はわかりません。	主に保育士・児童指導員が勤務しております。発達分野での専門性も研修や日ごろの積み重ねから学んでいこうと思います。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特徴に応じ、事業所の整備等は、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされているか	10			1	特に危険なところはないと思います。幼児用のトイレもありました。	ロッカーやスケジュール、送迎者など細かく視覚支援も取り入れていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			1	幼児用の便器や手洗い場もあって綺麗でした。	引き続き清潔に保ち、利用していて楽しい教室づくりを心がけます。
適切な支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画 ² が作成されているか	10			1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9			2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	1		1		評価に関しておできるだけ点数だけでなく、送迎時に当日の様子を補足させていただきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9	2			毎日今日の出来事を子供が楽しそうに話してくれます。	引き続き児童が楽しく参加できるプログラムやイベントを企画したいと思います。ご要望等あれば是非お聞かせください。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	5		予期せぬ交流は極力控え、交流をする際はしっかりと計画を行って目的をもった交流を行っていききたいと思います。
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					引き続き、定期的に変更や追加があった際にはご説明をさせていただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	2	2	2	母子での通園をすることも難しいので受けていません。	新型コロナの状況によって今後は保護者勉強会なども取り組みたいと考えています。

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9	1		1	・相談事があればご連絡をさせていただき丁寧に対応いただいています。 ・お互いに時間が取れず出来ていないのではないかと思います。	定期的に児童の発達の状況や、精神状態など家での様子と教室での様子を照らし合わせて共有をさせていただきたいと思います。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	2	2	・問題行動等があれば双方共有しご相談させていただいております。	困った際にはいつでも結構ですのでご連絡をください。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3		5	3		上記にもあります通り、新型コロナの状況を鑑みて勉強会等を検討したいと考えております。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10			1	相談をすれば直ぐに関係者に周知をしてほとんどその日中には回答をいただいております。	引き続き相談をいただいた場合は可能な限り当日中には何らかのご返答をさせていただきたいと考えております。お気軽にご相談ください。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	2				メール等を通じて出来る限り後に残る形で予約等のやり取りを行っていきたいと思います。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7		1	3	・最近ブログの更新が少ないので頻度を増やしていただきたいです。楽しみにしています。	出来るだけ更新の頻度を上げて、児童の成長の過程や楽しんでいる姿をご覧いただきたいと思います。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10			1		鍵付きの書庫にて書類は管理し、情報共有も関係機関内のみにしています。
非常時等の対応	㉔	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7			4	説明をいただきましたがマニュアルかどうかはわかりません。	今後マニュアルを更に検討してご家庭への配布を行い、周知徹底をはかりたいと考えています。
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			7	・プログラム表に毎月避難訓練が入っています。まだ我が子はその日に当たったことはないのですが内容はわかりません。	引き続き毎月同じ内容にならないように、そして出来るだけ多くの児童に行きわたるようにプログラムを試行錯誤し、形式的にならないよう消防署見学など、内容も児童が興味を持てる工夫を凝らしていきたいと考えています。
満足度	㉖	子どもは通所を楽しみにしているか	11				本来利用ではない曜日に「明日こばん行くよ」と言うと笑顔でやっただと言っていました。	引き続き自主的に子供たちが通所し、活動に参加できるよう取り組みたいと思います。
	㉗	事業所の支援に満足しているか	11				子供が楽しく通ってくれていることが何より安心です。	楽しいだけでなく、それが成長意欲につながるよう支援をしていきたいと考えています。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和2年11月30日

事業所名：こばんはうさくさく八幡西割子川教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2		国の設備基準を上回る児童一人当たり3㎡以上かつ死角のない指導員の目が届く1つの空間で集団療育を行えるスペースは十分にある。 不穩になったりする際も廊下やパーテーションで区切ってあげると上手くいっています。
	② 職員の配置数は適切である	8			児童10人に対し指導員2人以上という国の人員配置基準より増員した人員配置を常に行っています。 職員が多くなってきたため、役割分担や連携を強化する取り組みや休憩の回し方を工夫する必要があると考えています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。 また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、 バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8			遊具の収納や来所から身支度の導線、トイレや手洗いなどは児童がわかりやすいように写真等で視覚支援を行っています。バリアフリーが必要なお子様はいらっしゃらないが入口の階段は2段あるのでそこは職員が手をしっかりとつないで登るようにしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			毎日児童が帰宅後に清掃を行い、消毒等必要な対応をしています。また、空気清浄機や加湿器をつけ病気の予防に取り組んでいます。 パーテーションを購入したことで児童ごとに違う取り組みをしやすくなりました。
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画している	5	3		何か問題点や改善点があると直ぐに変更して実行していけるので取り組みやすいです。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、 保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	3		上ってきた意見については対応をしていると思うが、もっと多くの意見を吸い上げることが必要で、今後の取り組み課題とする。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、 事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、 事業所の会報やホームページ等で公開している	8			行っている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			8	現在は利用者と社内の評価のみとなっておりますが、今後の検討課題としていきたいと考えています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4	2	3月末程までは毎週1回研修を行っていたが緊急事態宣言以降あまり取り組めておらず、オンライン研修などを準備しています。
適切 な 支 援 の 提 供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 児童発達支援計画を作成している	8			ご契約時、またそれから少なくとも半年毎にアセスメントをとり、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。 必要に応じて担当者会議なども行っています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の 「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から 子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、 その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に則した支援内容を個別支援計画に掲げています。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	2		連絡帳や教室内にもすぐ確認できるようにしており、目標達成に取り組んでいます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8			月に一度（第1金曜日）、2ヶ月先のプログラムについて会議の場を設けています。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3		曜日ごとに言語・運動・座学などかぶらないように設定を行っているがその内容も少し固定化されてきていると思う。本部から配信されるプログラムについての他教室の取り組みなども参考しつつ、新しい先生も増えてきたので皆で知恵を出し合って、同じことをするにしてもより高いレベルの支援をしていきたい。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8			児童の発達段階に応じて、個別の課題と社会性等の集団行動について作成しています。 午前中は個別活動、午後からは集団活動に取り組んでいます。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、 その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3		毎日朝礼でその日の動き方について確認をしているものの、事前準備が足りないこともあったので企画書の徹底を行っています。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	6	2		終礼にて当日の支援の振り返りを行っており、当日の児童の様子や連携がうまくいかなかったことなども話し合い改善につなげています。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			記録については徹底しており、何か問題や不具合があればすぐに職員間で共有・改善を試みています。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			最低でも半年に一回は見直しを行っています。

関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	6	2		開催の際には一番詳しい職員参加をしており、可能な限り児童発達支援管理責任者・管理者・指導員が参加しています。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8			必要に応じて関係機関と連携をしながらご家庭のサポートを行っています。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	4		*現在該当児童の在籍はありません。 *必要に応じて連携について保護者と相談しながら行います。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	4		*現在該当児童の在籍はありません。 *必要に応じて連携について医療機関と連携をとります。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		幼稚園や保育園とは必要に応じて日頃の児童の状況について共有や相談をおこなっています。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2		児童によって特に必要な場合や保護者の要望によって行っております。
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		8		センターやセンターに属する相談事業所などとの情報共有を行うことがありますが、研修などには至れておらず今後積極的に情報収集に動きたいと思います。
保護者への説明責任等	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			8	トラブルや新型コロナ渦であることから機会を持っておらず、今後は保護者様のご希望等を鑑みた上で必要に応じて状況をみて企画していきたいと考えています。
	㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			8	現在そういった機関への参加は行っておらず、今後必要があれば参加したいと考えています。
	㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	4		送迎時には長く時間をとれないご家庭あるのでモニタリングシートなどを作成または毎月の予約の際に定期的にニーズのチェックを行う等
	㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			8	送迎時やお電話、時には訪問を行い家庭内での課題については一緒に取り組んでおりますが、ペアレントトレーニングについては取り組めておらず、 新型コロナの状況をみて勉強会等の開催を検討したいと考えています。
	㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			利用開始時に書面を用いてご説明をさせていただいています。
	㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			ガイドラインについてはご契約時に説明をさせていただき、支援計画は最低半年に一度は更新を行い、保護者様からの同意をいただいています。
	㉞ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2		日ごろから送迎時にはその日の様子だけでなく、お困りごとなどについても何うようにしており、難しい問題については終礼等で職員間で話し合いを行い、助言や情報提供をしています。
保護者への説明責任等	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8	新型コロナの流行に伴い行っておりません。今後は状況をみて取り組んでいきたいと考えています。
	㊱ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			相談や申し入れがあった場合、できるだけ早く、最低でもその日には電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。 苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	㊲ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	4		ブログにて支援の様子を公開するようになっておりますが公開が追いついておらず、最低でも月に一回は更新するよう取り組んでまいります。
	㊳ 個人情報取扱いに十分注意している	8			個人情報については契約時に書面で同意をいただいております、個人ファイルについては鍵付きの書庫に保管をしています。 また保護者同士が知り合いの場合でもお互いの話はしないなど個人情報に気を配っています。
	㊴ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			言葉と合わせてサインを併用したり、視覚支援や本人の興味の持ちやすいものを利用するなど伝達方法を工夫しています。 その日の活動内容やスケジュール、送迎車やその順番にいたるまでホワイトボードに記載し表示しています。
	㊵ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている			8	コロナ渦ということより取り組めていません。状況をみて取り組んでいきたいと思っています。ただ、お散歩や公園で遊ぶ際には近所の方との挨拶などコミュニケーションをとっています。

非常 時等 の対 応	㊤ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	4		保護者への周知について十分でない部分もあり、わかりやすくまとめてご家庭にも配布したいと考えています。
	㊦ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2		避難訓練は月に一回以上取り組んでいますが、緊急時の対応方法はまだ見直しの余地があると考えています。
	㊧ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8			契約時にお薬手帳のコピーをいただいております。また、てんかんについても状況を伺い起こりそうな予兆やシチュエーションがあれば事前に保護者様と連携をするようにしています。
	㊨ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			毎日のお菓子の提供やイベントにおいてもアレルギーは食品保管場所に児童ごとに明記し対応を徹底しています。
	㊩ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	4		作成をする職員に偏りがあったり、定期性がなかったりするので、月に最低でも1つは作成するなどルール作りをしたいと考えています。
	㊪ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2		社内研修を行い、防止に取り組んでおりますが、今後は機会があれば外部研修にも参加していきたいと考えています。
	㊫ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8			身体拘束に関しては、『利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急でやむを得ない場合を除き、行動制限その他利用者の行動を制限する行為を行いません。』という内容を契約時に書面にて説明をさせていただいております。 ※現時点で必要な児童の在籍はありません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。